



学校図書館だより

1月号

令和4年1月
柏市立中学校
柏市学校図書館指導員

新年は一年の初めであり、迎えると気分も新たになります。行事や風景は土地や家々によりさまざまですがおめでたい気分は共通です。

3年生は受験の追い込みですね。この時期の図書館は自習をする人、日向でゆったり読書をする人が増えてきました。みなさんの学習も心もゆったり支えられる所でありたいと思います。

新年の俳句



正月や よき旅をして 梅を見る	河東碧梧桐(かわひがしへきごとう)
初富士を 見て嬉しさや 君を訪ふ	高浜虚子(たかはまきよし)
歌留多取る 鶺鴒の目鷹の目 余所目かな	室生犀星(むろうさいせい)

*歌留多(かるた) *鶺鴒の目鷹の目(うのめたかのめ) = 一生懸命ものを探し出すさま。
*余所目(よそめ) = よそを見るような目つき。



参考資料：『ジュニア版 写真で見る俳句歳時記 新年・総索引』小峰書店

今年の干支

虎にちなむ作品

読んでおきたい日本の名作

『山月記・李陵ほか』

中島敦著／教育出版 NDC913



中国・唐の時代を舞台に主な登場人物は、李徴(りちよう)と袁慆(えんさん)。李徴は、高すぎる自尊心のために何をしても満足することが出来ず、ある日突然発狂して虎に姿を変えて行方不明に。ところが数年後、偶然にも山中でかつての親友・袁慆と再会。2人の間で何が語られたのか？虎になった理由は？国語の教科書にも掲載される中島敦の代表作です。

3年生を応援しています。

★受験コーナー★



過去の入試問題や入試対策本・作文・面接の本をまとめたコーナーを設けています。一部貸し出しをしていますのでご利用ください。



今月のおすすめ本 (テーマは和)

『和菓子の絵本 和菓子っておいしい!』

平野恵理子著／あすなろ書房 NDC596

お正月に和菓子をいただいた方もいるでしょう。和菓子は日本で昔から食べられているお菓子です。季節ごとにたくさんの種類があり、目で見てきれい、食べておいしいです。おまんじゅうやおだんご、おせんべいやあんこ菓子…。材料、地方の名物、歴史まで盛り込んだ絵本です。おはぎやどら焼きの作り方ものっています。



新装改訂版『一色一生』

志村ふくみ著／求龍堂 NDC753

作者の志村さんは染色作家・随筆家です。染色をする過程で一番面白いのは植物の花、樹皮、実、根などを炊きだして染料の液を作り、糸を染める段階だといいます。望みの色を生み出すために一生をかけてきた作者の、影響を受けた人々や色との出会いを語ったエッセイです。

大仏次郎賞受賞エッセイの新装改訂版。



※ライブラリーサーチと出版社の本の紹介を参考にしています。